



2021年12月22日

各位

会社名 株式会社 サインド  
代表者名 代表取締役社長 奥脇 隆司  
(コード番号：4256 東証マザーズ)  
問合せ先 代表取締役副社長 高橋 直也  
長兼管理部長  
(TEL. 03-6277-2658)

## 東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2021年12月22日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

なお、2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）における当社の業績予想は、次のとおりであります。また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

### 【個別】

(単位：百万円・%)

項目	決算期	2022年3月期 (予想)			2022年3月期 第2四半期累計期間 (実績)		2021年3月期 (実績)	
		対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率	
売上高		1,051	100.0	31.5	507	100.0	799	100.0
営業利益		272	25.9	44.7	174	34.4	188	23.5
経常利益		256	24.4	36.0	173	34.2	188	23.6
当期(四半期)純利益		177	16.9	32.2	121	24.0	133	16.7
1株当たり当期(四半期)純利益		33円90銭			24円39銭		26円77銭	
1株当たり配当金		0円00銭			0円00銭		0円00銭	

(注) 1. 当社は連結財務諸表を作成しておりません。

2. 2021年3月期(実績)及び2022年3月期第2四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。2022年3月期(予想)の1株当たり当期純利益は公募株式数(800,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分(最大201,000株)は考慮しておりません。

3. 2021年9月1日付で、株式1株につき5株の株式分割を行っております。上記では、2021年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益を算出しております。

## 【2022年3月期業績予想の前提条件】

本資料に記載の2022年3月期の業績予想数値は、2021年3月期の実績数値に基づき策定した数値となっております。

### (1) 全体の見直し

当社の主要サービスである「BeautyMerit（ビューティーメリット）」は、「顧客と時間の価値を最大化」というプロダクトポリシーのもと、理美容店舗に対して、集客・予約・施術・会計・アフターフォローに至るまで、店舗と顧客のつながりに対して、最適な顧客体験（CX(注1)）の構築、働き方改革（DX(注2)）を支援するサービスであります。

経済産業省が2021年7月に発表した「令和2年度 内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業」によると、理美容サービスにおけるネット予約市場は2015年は2,420億円でしたが、2020年は6,229億円となっており、2015年と2020年を比較すると157.4%増と高い伸びを示しています。

一方で、対面サービス業であり人的な労働力を不可欠とする理美容業界では、店舗間の競争激化とともに慢性的な人材不足も深刻化しています。規模の大小にかかわらず店舗経営の情報システム化は加速しており、24時間予約システムの導入が促進されるなど、サービス提供者の参入も活性化しています。

当社は、いち早く理美容店舗のネット予約市場に着目し、2012年5月にクラウド型予約管理システム「BeautyMerit（ビューティーメリット）」をリリースして以来、店舗業務のオペレーションをより円滑にするためのサービスを提供し、2021年10月末時点で5,600店舗以上にご利用いただいております。

今後も理美容業界において、ITを活用したCXの構築やDXの重要性が高まっていくと予想しております。

このような事業環境において、「BeautyMerit（ビューティーメリット）」ではコロナ禍において美容室・美容店舗の興味関心が高いEC機能において大手美容ディーラーとの連携の強化を図るとともに、今後のシェア拡大に向けて採用活動を進め、営業及び開発エンジニアの人員を強化し、営業活動も積極的に進めたことにより、契約件数は増加し、2022年3月期第2四半期累計期間の実績は売上高507百万円、営業利益174百万円、経常利益173百万円、四半期純利益121百万円となりました。

このような状況のもと、2022年3月期の業績予想は、売上高1,051百万円（前期比31.5%増）、営業利益272百万円（前期比44.7%増）、経常利益256百万円（前期比36.0%増）、当期純利益177百万円（前期比32.2%増）を見込んでおります。

(注1) CXとは、Customer Experience(カスタマーエクスペリエンス)の略語で、顧客が製品やサービスと接して興味を持った時点から、購入して利用し続けるまでの事業者との接点(顧客接点)、顧客が事業者との関わりで得られるすべての価値を指します。

(注2) DXとは、Digital Transformation(デジタルトランスフォーメーション)の略語で、IT技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革させるという概念を指します。

### (2) 売上高

当社の事業は、理美容ソリューション事業の単一セグメントとなっております。

理美容ソリューション事業は、当社の主要サービスである「BeautyMerit（ビューティーメリット）」及びその他サービスの提供により構成されております。

「BeautyMerit（ビューティーメリット）」の収益構造は、顧客に対してクラウド上で提供するサービスの対価を使用期間に応じて受領するサブスクリプション（月額課金）モデルとなっており、売上高は、月額利用料と新規導入の際の初期費用等で構成されております。

「BeautyMerit（ビューティーメリット）」の月額利用料、初期費用及びその他サービスからの売上高に関する業績予想の具体的な策定方法は下記の通りとなります。

「BeautyMerit（ビューティーメリット）」月額利用料については、前期における既存の契約店舗の月額利用料売上、新規契約見込みの月額利用料売上を加算、解約見込みの月額利用料売上を減算することにより算出しております。

新規契約見込みの月額利用料売上は、新規獲得顧客見込み数に新規獲得顧客のARPU(注1)を乗じて算出しております。

新規獲得顧客見込み数は、人員計画に基づく営業人員数に、前期実績により算定した営業人員1人当たりの月次の新規顧客獲得数を乗じることで算出しており、新規獲得顧客のARPUは、前期実績に基づく新規獲得顧客の月額利用料の平均値により算出しております。

解約見込みの月額利用料売上は、解約見込み数に前期における解約顧客のARPUを乗じて算出しております。

解約見込み数は、前月の見込み契約店舗数に前期実績に基づく解約率(注2)を乗じて算出しており、解約顧客のARPUは、前期実績に基づく、既存の契約店舗の月額利用料の平均値により算出しております。

「BeautyMerit（ビューティーメリット）」初期費用については、上記の新規獲得顧客見込み数に、前期実績に基づく契約店舗あたりの初期費用単価を乗じて算出しております。

2022年3月期末時点の契約店舗数は、約5,800店舗を見込んでおり、2022年3月期の「BeautyMerit（ビューティーメリット）」月額利用料及び初期費用の売上高は1,006百万円（前期比37.5%増）を見込んでおります。

その他サービスからの売上は、外部サービスの提供事業者（サービスパートナー）から受領する「BeautyMerit（ビューティーメリット）」との連携の対価等から構成されており、前期実績を参考に算出しております。

以上の結果、売上高は1,051百万円（前期比31.5%増）を見込んでおります。

（注1）ARPUとは、Average Revenue Per Userの略語で、1有料課金店舗当たりの平均月額単価を指します。

（注2）解約率は、契約店舗数をベースに算出した月次平均解約率であるカスタマーチャーンレートを使用しております。

### （3）売上原価

売上原価は、主に「BeautyMerit（ビューティーメリット）」の開発に係る労務費及びサーバ費用により構成されております。

労務費については、前期における開発部門の人件費に人員計画に基づく新規採用予定人員の人件費を加味して算出しております。2022年3月期の労務費は、120百万円（前期比32.6%増）を見込んでおります。

サーバ費用については、主に「BeautyMerit（ビューティーメリット）」のサービス提供に係るサーバの利用料金であり、前期におけるサーバ費用に、契約店舗数の増加に伴うサーバ費用の増加を加味して算出しております。2022年3月期のサーバ費用は、21百万円（前期比49.2%増）を見込んでおります。

以上の結果、売上原価は162百万円（前期比19.7%増）を見込んでおります。

### （4）販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費は、主に人件費、代理店手数料、その他の経費により構成されております。

人件費は、主に営業部門、管理部門の人件費であり、前期における人件費に人員計画に基づく新規採用予定人員の人件費を加味して算出しております。2022年3月期の人件費は、337百万円（前期比12.9%増）を見込んでおります。

代理店手数料は、代理店パートナーが「BeautyMerit（ビューティーメリット）」の顧客を当社に紹介して当社が顧客と契約した場合に支払う紹介手数料であり、顧客からの初期費用や月額利用料の金額に応じて代理店手数料が算定されることから、前期における代理店手数料の売上高比率の実績等に基づいて算出しております。2022年3月期の代理店手数料は、77百万円（前期比47.0%増）を見込んでおります。

その他の経費は、主に本社や営業所の地代家賃等であり、賃貸借契約に基づいて算出しております。その他の費用については前期実績に基づいて、個別に発生予定額を算出しております。

以上の結果、販売費及び一般管理費は616百万円（前期比29.4%増）、営業利益は272百万円（前期比44.7%増）を見込んでおります。

### （5）営業外損益、経常利益

営業外収益は、大きな発生を見込んでおりません。

営業外費用は、主に新規株式上場に伴う諸費用の発生のほか、借入金に係る支払利息を見込んでおります。

以上の結果、経常利益は256百万円（前期比36.0%増）を見込んでおります。

### （6）特別損益、当期純利益

特別利益は、訴訟の和解に伴う和解金収入を見込んでおります。

2022年3月期においては、特別損失の発生は見込んでおりません。

以上の結果、当期純利益は177百万円（前期比32.2%増）を見込んでおります。

### 【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、経営環境の変化等の様々な要因によって異なる場合があります。

以 上



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年12月22日

上場会社名 株式会社サインド 上場取引所 東  
 コード番号 4256 URL https://cynd.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥脇 隆司  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼管理部長 (氏名) 高橋 直也 TEL 03 (6277) 2658  
 四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	507	-	174	-	173	-	121	-
2021年3月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	24.39	-
2021年3月期第2四半期	-	-

- (注) 1. 2021年3月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2021年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2022年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。  
 2. 当社は、2021年9月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算出しております。  
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	692	471	68.1
2021年3月期	588	349	59.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 471百万円 2021年3月期 349百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2022年3月期	-	0.00	-	-	-
2022年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,051	31.5	272	44.7	256	36.0	177	32.2	33.90

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無  
 2. 当社は、2021年9月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

3. 1株当たり当期純利益は、公募株式数（800,000株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分（最大201,000株）は考慮していません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付書類P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	5,000,000株	2021年3月期	5,000,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	一株	2021年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	5,000,000株	2021年3月期2Q	一株

- (注) 1. 当社は、2021年9月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、及び「期中平均株式数」を算定しております。  
 2. 2021年3月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数は記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する事項は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、ワクチン接種の効果への期待はあるものの、依然として先行き不透明な状況であり、しばらくは新型コロナウイルスとの共存を模索する動きが続くものと考えられます。

このような環境の中、当社は、「インターネットを通じて、心のつながりを提供する」というミッションのもと、理美容店舗に対して、店舗と顧客のつながりをサポートする、クラウド型予約管理システム

「BeautyMerit（ビューティーメリット）」の提供を通じた事業展開を行ってまいりました。

「BeautyMerit（ビューティーメリット）」ではコロナ禍において美容室・美容店舗の興味関心が高いEC機能において、大手美容ディーラーとの連携の強化を図りました。大手美容ディーラーとの連携数を増やすことで、在庫を抱えずに店販商品をオンラインショップで販売できる商品数が増加し、美容室・美容店舗のEC売上を更に生み出しやすくする仕組みの構築を進めました。

また、今後のシェア拡大に向けて採用活動を進め、営業及び開発エンジニアの人員を強化し、営業活動も積極的に進めたことで引き続き大手チェーン店を含めた契約件数は増加し、売上高は大幅に増加いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は507,637千円、営業利益は174,493千円、経常利益は173,388千円、四半期純利益は121,954千円となりました。

なお、当社は理美容ソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は692,890千円となり、前事業年度末に比べ104,281千円増加いたしました。

これは主として、営業活動からのキャッシュ・フロー収入による現金及び預金の増加88,276千円、営業取引の増加に伴う売掛金の増加9,162千円によるものです。

##### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は221,226千円となり、前事業年度末に比べ17,672千円減少いたしました。

これは主として、前事業年度末において賞与に係る未払金を計上していたこと等による未払金の減少15,876千円によるものです。

##### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は471,664千円となり、前事業年度末に比べ121,954千円増加いたしました。

これは、四半期純利益121,954千円を計上したことによる繰越利益剰余金の増加によるものです。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ88,276千円増加し、当第2四半期会計期間末には567,516千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は107,970千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益175,438千円、未払金の減少額16,053千円及び未払消費税等の減少額11,342千円等によるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は8,024千円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出1,622千円、差入保証金の差入による支出6,402千円によるものです。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は11,670千円となりました。これは、長期借入金の返済による支出11,670千円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。



2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	479,239	567,516
売掛金	48,023	57,186
棚卸資産	1,460	1,660
その他	9,343	13,135
貸倒引当金	△1,194	△508
流動資産合計	536,872	638,989
固定資産		
有形固定資産	16,432	15,627
無形固定資産	6,623	3,603
投資その他の資産		
破産更生債権等	3,473	1,287
その他	28,679	34,670
貸倒引当金	△3,473	△1,287
投資その他の資産合計	28,679	34,670
固定資産合計	51,736	53,901
資産合計	588,608	692,890
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	23,340	23,340
未払金	57,405	41,528
未払法人税等	48,488	53,483
賞与引当金	8,253	24,761
その他	75,035	63,406
流動負債合計	212,523	206,521
固定負債		
長期借入金	26,375	14,705
固定負債合計	26,375	14,705
負債合計	238,898	221,226
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
利益剰余金	348,710	470,664
株主資本合計	349,710	471,664
純資産合計	349,710	471,664
負債純資産合計	588,608	692,890

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	507,637
売上原価	79,871
売上総利益	427,766
販売費及び一般管理費	253,272
営業利益	174,493
営業外収益	
受取利息	2
受取配当金	0
雑収入	13
営業外収益合計	16
営業外費用	
支払利息	121
上場関連費用	1,000
営業外費用合計	1,121
経常利益	173,388
特別利益	
和解金収入	2,050
特別利益合計	2,050
税引前四半期純利益	175,438
法人税等	53,484
四半期純利益	121,954

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	175,438
減価償却費	5,877
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,871
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16,507
受取利息及び受取配当金	△2
支払利息	121
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,976
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△200
前払費用の増減額 (△は増加)	971
未払金の増減額 (△は減少)	△16,053
未払費用の増減額 (△は減少)	△74
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△11,342
預り金の増減額 (△は減少)	2,653
その他	△7,476
小計	156,573
利息及び配当金の受取額	2
利息の支払額	△115
法人税等の支払額	△48,488
営業活動によるキャッシュ・フロー	107,970
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,622
差入保証金の差入による支出	△6,402
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,024
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△11,670
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,670
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	88,276
現金及び現金同等物の期首残高	479,239
現金及び現金同等物の四半期末残高	567,516

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取り扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。なお、新たな会計方針の適用による利益剰余金の期首残高、及び当第2四半期累計期間の損益に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」

(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取り扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、新たな会計方針の適用による四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社は、理美容ソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。